Public Relations Kyotanabe City
平成26年
(2014年)
No.745
6月1日

広報 京たなべ

■主な内容

P2 乳がん・子宮がん検診で早期発見を
P2 国保制度が一部変わります
P3 夏休み留守家庭児童会の入会を受け付け
P4 京たなべ男女共同参画週間

発行／京田辺市 〒610-0393 京都府京田辺市田辺80 ☎(0774) 63-1122 FAX (0774) 63-4781 http://www.kyotanabe.jp/

広報「京たなべ」の題字は、石井市長が未来へ向かって発展する力強い京田辺市をイメージして書きました。

大雨に備え総点検

訓練とパトロールで安全・安心を強化

近年、集中豪雨や台風などで、市内でも浸水・土砂崩れなどの被害が発生しています。災害を未然に防ぎ、被害を最小限に食い止めるためには、日ごろの備えが大切です。

市は、水害に備えて技術を磨き、地域防災力を高めるための水防訓練と、豪雨による被害を最小限に抑えるための防災パトロールを毎年行っています。

5月18日、飯岡地区の木津川左岸河川敷で行った水防訓練には、市消防団・消防本部のほか、各地区の自主防災会など約270人が参加。土のう作りや水防工法などの訓練を通じ、災害時の連携を確認しました。

豪雨被害を最小限に

市内を巡回し安全を確認

ポンプの稼働を確認

5月20日、市は市消防団・京都府などとともに、市内で特に災害発生の恐れがある箇所を点検する防災パトロールを行いました。

この日、石井市長をはじめ、府・市職員、市消防団員など約40人が市内を巡回。

天王地区の急傾斜地では土砂崩れの兆候がないことを確かめ、木津川の神矢樋門・排水機場では、堤内の水位が上昇した際にポンプが正常に動作することを確認しました。

避難所生活を体験

一泊訓練で「共助」を学ぼう

市は、大規模地震を想定した避難所一泊体験訓練の参加者を募集します。

避難所での生活を体験し、災害時に公的な援助が行き届くまでの間、地域住民が互いに協力して災害に対応する「共助」の大切さを学びます。

日時＝8月8日㈮午後3時30分～9日㈯午前10時

場所＝田辺東小学校

対象＝市内に在住する小学校3年生以上。小学生は保護者の同伴が必要です

内容＝避難所開設準備・炊き出し・応急手当実技講習・HUG（避難所で起こる出来事を疑似体験する机上訓練）・防災DVD視聴など

着替え・タオルなどを持参してください。なお、風呂はありません。

定員＝50人。多数の場合は抽選し、7月22日㈫以降に結果を郵送します

参加費＝無料

申込方法＝往復はがきの往信用に「避難所一泊体験希望」・住所・氏名（ふりがな）・生年月日・日中連絡のつく電話番号・子ども参加の有無（子どもの名前・生年月日）を書いて郵送してください

しめきり＝7月15日㈫（当日消印有効）

申込・問合せ先＝安心まちづくり室（〒610-0393〈住所不要〉、☎64-1307）

訓練のイメージ

昨年の避難所運営訓練の様子

参加者同士、力を合わせて物資を搬入

緊急時に役立つロープの結び方を救助隊員が指導